



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月18日

会社名 三国商事株式会社
 コード番号 8062
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 西尾 佳三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 寿一 (TEL) (03) 3438-1021
 半期報告書提出予定日 平成28年12月22日
 半期決算取締役会開催日 平成28年11月18日

グリーンシート銘柄
 URL <http://www.mikunishoji.co.jp/>

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,883	△13.5	△19	—	△65	—	△17	—
28年3月期第2四半期	11,427	△18.1	△2	—	2	△96.1	5	△75.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △32百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△2.85	—
28年3月期第2四半期	1.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	7,626	1,643	21.5	274.94
28年3月期	8,373	1,715	20.4	285.58

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,643百万円 28年3月期 1,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	19,700	△9.9	△50	—	△20	—	△3.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	6,000,000株	28年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	22,516株	28年3月期	22,516株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	5,977,484株	28年3月期2Q	5,977,484株

（参考）個別業績の概要

1. 平成29年3月期第2四半期の個別業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,316	2.2	21	△47.6	27	△48.4	50	34.6
28年3月期第2四半期	8,138	△1.0	41	49.0	54	69.9	37	111.5

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
29年3月期第2四半期	8.53
28年3月期第2四半期	6.33

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	6,279	1,654	26.3	276.75
28年3月期	6,311	1,636	25.9	273.84

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 1,654百万円 28年3月期 1,636百万円

2. 平成29年3月期の個別業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	17,100	7.6	90	27.0	100	71.5	16.73

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、

【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我国経済は、政府主導の金融政策、財政出動の継続、消費税の先送り等により下支えされ、雇用や所得環境の改善等は見られたものの、個人消費及び設備投資の低迷や為替の変動、中国経済減速への警戒感から景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下でありまして、当社グループは、既存顧客からの継続的な安定受注を図るとともに、金属・電線・化成品等幅広い製品群の総合力を活かした提案営業を積極的に推進するとともに新規顧客の開拓等に努めてまいりました。しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しく、顧客からの受注量の減少及び市場における価格競争の激化等を受けまして、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,883百万円（前年同期比13.5%減）、営業損失は19百万円、経常損失は65百万円、法人税等調整額が減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は17百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①東京支店

新ゲーム機の立ち上がりにより、遊技機向け配線板材料・電線が伸長いたしました。また、自動車向け巻線、半導体関連部材、電力トランス向け電磁鋼板・巻線も堅調に推移いたしました。しかしながら、住宅・家電・輸出用ゲーム機向け表面処理鋼板、医療用光伝送ケーブル、太陽光発電設備向け電力ケーブルは需要の減少と在庫調整の影響で売上が減少いたしました。この結果、売上高は4,152百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

②大阪支店

民生需要の低迷が続き、その影響により電線用や建材用向け材料が減少いたしました。一方で医療用ケーブルや海外向け電池用缶材、さらに照明用配線板材料が大きく伸張いたしました。また仕入先からの顧客移管や新規の顧客開拓も功を奏し、売上げに大きく寄与いたしました。この結果、売上高は2,610百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

③日立支店

電動工具向け部材・材料は回復基調にあり国内向けの売上は伸長したものの、海外向けは為替の円高影響を受け採算が悪化いたしました。しかしながら、車載機器向けケーブル加工品及び空調向け部材の受注は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は1,097百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

④海外

米国の液晶テレビ市場の価格低下と競争激化により、液晶パネルが市場価格の大幅な下落の影響を受け、大幅に減少いたしました。また、電池用部材も一部顧客の工場閉鎖の影響により、売上が減少いたしました。この結果、売上高は2,022百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から746百万円減少し、7,626百万円となりました。主として、現金及び預金が701百万円減少、商品及び製品が455百万円それぞれ減少し、受取手形及び売掛金が372百万円増加したことにより、流動資産が748百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から675百万円減少し、5,983百万円となりました。主として、支払手形及び買掛金が126百万円、短期借入金が260百万円、1年内返済予定の長期借入金が119百万円それぞれ減少したことにより、流動負債が560百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から71百万円減少し、1,643百万円となりました。主として剰余金の配当29百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、694百万円となり前連結会計年度末より701百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、313百万円となりました。主な減少要因は、売上債権の増加によるものであり、主な増加要因は、たな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、62百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は327百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少による支出及び長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の我国経済は、企業収益や雇用情勢が緩やかに回復していくことが期待される一方で、海外経済の減速懸念や為替・株価の不安定化及び原材料価格の変動等、引き続き不透明な状況で推移するものと思われれます。

このような経済環境下にありまして、当社グループは、顧客ニーズに対応した販売体制の強化を図るとともに、新規取扱い製品の拡充並びに新規顧客の開拓にこれまで以上に注力し、持続的成長と業績の向上に努めてまいり所存であります。

なお、通期の業績予想につきましては、本日（平成28年11月18日）公表いたしました「平成29年3月期第2四半期及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」
(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日
以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しておりま
す。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)
を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,395,830	694,271
受取手形及び売掛金	4,224,485	4,596,770
電子記録債権	432,863	447,186
商品及び製品	1,344,903	889,836
繰延税金資産	29,006	20,468
その他	219,493	243,234
貸倒引当金	△14,713	△8,336
流動資産合計	7,631,868	6,883,432
固定資産		
有形固定資産	304,332	295,812
無形固定資産	70,313	67,355
投資その他の資産		
その他	445,301	456,179
貸倒引当金	△78,419	△76,098
投資その他の資産合計	366,882	380,081
固定資産合計	741,528	743,249
資産合計	8,373,397	7,626,681
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,731,122	2,604,638
短期借入金	2,111,215	1,850,835
1年内返済予定の長期借入金	119,222	—
リース債務	3,125	3,144
未払法人税等	8,519	11,338
役員賞与引当金	4,000	2,000
その他	199,668	144,381
流動負債合計	5,176,873	4,616,338
固定負債		
長期借入金	1,276,889	1,210,073
リース債務	4,274	2,697
役員退職慰労引当金	21,470	27,550
退職給付に係る負債	129,163	122,680
繰延税金負債	49,404	3,827
その他	152	58
固定負債合計	1,481,354	1,366,887
負債合計	6,658,228	5,983,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	4,044	2,967
利益剰余金	1,253,224	1,206,310
自己株式	△3,298	△3,298
株主資本合計	1,603,970	1,555,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,241	60,592
為替換算調整勘定	35,732	22,566
退職給付に係る調整累計額	3,121	4,317
その他の包括利益累計額合計	103,095	87,475
非支配株主持分	8,102	—
純資産合計	1,715,169	1,643,454
負債純資産合計	8,373,397	7,626,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	11,427,759	9,883,516
売上原価	10,637,569	9,152,831
売上総利益	790,189	730,684
販売費及び一般管理費	792,830	750,384
営業損失(△)	△2,640	△19,699
営業外収益		
受取利息	15,104	18,199
受取配当金	2,645	2,520
デリバティブ評価益	2,321	3,768
業務受託料	8,567	7,496
雑収入	9,230	10,385
営業外収益合計	37,867	42,370
営業外費用		
支払利息	26,542	29,071
手形売却損	3,910	3,229
為替差損	382	51,384
雑損失	1,807	4,277
営業外費用合計	32,643	87,962
経常利益又は経常損失(△)	2,583	△65,290
特別利益		
固定資産売却益	3,792	—
特別利益合計	3,792	—
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	4,424
貸倒引当金繰入額	—	2,800
特別損失合計	—	7,224
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,376	△72,515
法人税、住民税及び事業税	5,787	4,235
法人税等調整額	△3,248	△59,723
法人税等合計	2,539	△55,488
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,837	△17,026
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,153	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,991	△17,026

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,837	△17,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,700	△3,649
為替換算調整勘定	7,431	△13,165
退職給付に係る調整額	△1,650	1,195
その他の包括利益合計	△3,919	△15,620
四半期包括利益	△82	△32,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,474	△32,647
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,557	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,376	△72,515
減価償却費	11,041	14,547
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,282	△2,796
受取利息及び受取配当金	△17,749	△20,720
支払利息	26,542	29,071
為替差損益(△は益)	△705	30,433
ゴルフ会員権評価損	—	4,424
固定資産売却損益(△は益)	△3,792	—
売上債権の増減額(△は増加)	188,903	△569,364
たな卸資産の増減額(△は増加)	△590,903	365,656
仕入債務の増減額(△は減少)	99,709	△42,419
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	380	6,080
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,000	△2,000
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△14,622	△947
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,992	△3,219
その他	△2,805	△41,734
小計	△298,915	△305,503
利息及び配当金の受取額	17,781	20,633
利息の支払額	△28,136	△29,054
法人税等の支払額	△9,581	76
営業活動によるキャッシュ・フロー	△318,852	△313,847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△131	△194
有形固定資産の売却による収入	4,262	62
無形固定資産の取得による支出	△146	△48,513
投資有価証券の取得による支出	△4,070	△4,156
その他	3,116	△9,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,030	△62,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△93,402	△174,191
長期借入れによる収入	473,209	—
長期借入金の返済による支出	△354,106	△114,646
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△9,180
配当金の支払額	△27,392	△27,775
その他	△3,143	△1,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,834	△327,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,370	1,847
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△324,026	△701,559
現金及び現金同等物の期首残高	1,790,638	1,395,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,466,611	694,271

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

①前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日 本			海外	計		
	東京支店	大阪支店	日立支店				
売上高							
外部顧客への売上高	4,303,017	2,239,982	1,072,025	3,812,734	11,427,759	—	11,427,759
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98,238	272,086	153,530	392,873	916,729	△916,729	—
計	4,401,255	2,512,068	1,225,556	4,205,607	12,344,488	△916,729	11,427,759
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	41,407	12,404	△10,725	△43,865	△779	△1,861	△2,640

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△1,861千円には、セグメント間振替高△117千円、各報告セグメントに配分していない一般管理費の配賦差額△1,743千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

②当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日 本			海外	計		
	東京支店	大阪支店	日立支店				
売上高							
外部顧客への売上高	4,152,676	2,610,754	1,097,745	2,022,339	9,883,516	—	9,883,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,073	262,293	179,104	283,298	738,770	△738,770	—
計	4,166,749	2,873,048	1,276,849	2,305,638	10,622,286	△738,770	9,883,516
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	26,427	18,491	△18,237	△44,046	△17,364	△2,335	△19,699

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△2,335千円には、セグメント間振替高2,693千円、各報告セグメントに配分していない一般管理費の配賦差額△5,028千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。